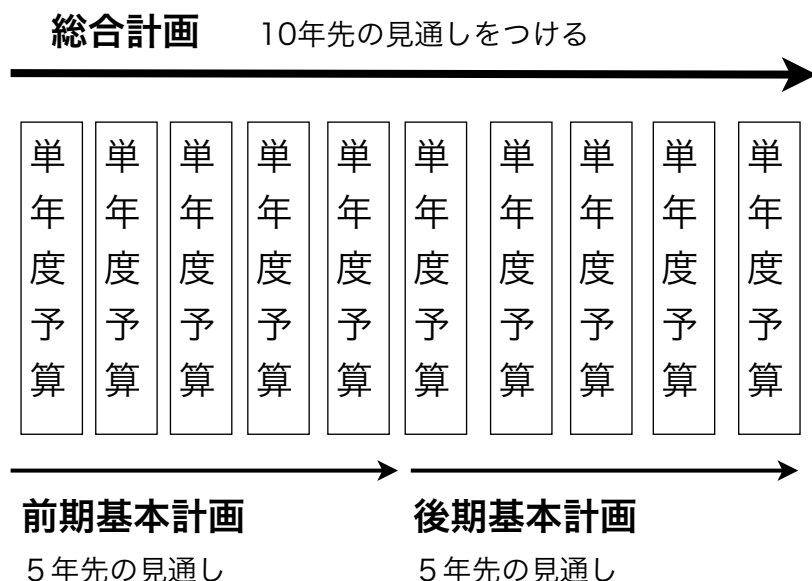


# 後期基本計画に向けての意見

2016.1.12

緑の党グリーンズジャパン 井奥雅樹

## ●後期総合計画はなぜ策定するのか



## ○総合計画の意義の再確認と意義が活かされない「バラマキ」表記ではダメ

どうしても取れる文章表現

事業の優劣をつけない羅列 に陥りがち

## ○後期基本計画は「基本計画」という枠の中で「状況の変化」に対応するものであるはず

①総合計画策定時での議論で古くなったものの廃止、見直し

②同じく策定時にはなかった概念の追加③時代の流れの中で

優先順位を変更するもの

### ■提案

- ・まずは「変化」を把握し、後期基本計画の議論を「変化」対応に絞って行なう
- ・市政における優先順位を明確にし、「リーディングプロジェクト」のような形で優先する事業を明確にする

## 「変化」に絞った6つの分析と提言

### ■6つの分析と提言

① [移住・定住の促進、シティプロモーション]

現実的な「定住策」の積み重ねを行なうべき

また、「広い高砂市民」といった概念を普及すべき

② [若者・女性政策]

多様な家族、多様な生き方が認められる選択肢の多い自治体へ

③ [子ども政策・福祉・医療政策]

待機児童ゼロの伝統を活かし、さらなる子育て先進地・充実した教育自治体に

④ [環境・エネルギー政策]

エネルギーと気候変動対策による産業づくりへの記載を

⑤ [観光政策]

無理な産業化ではなく、地元で誇りをもって紹介する資源に

⑥ [民主主義の建て直し]

実質的なまちづくりの議論と市民自治をめざして

### 提言例 ⑤観光政策

・「観光」分野は産業化ではなく、高砂市の特性を活かした「市民が誇りを持って紹介できる」資源の開発にとどめるべきである

・実施主体を行政から市民に明確に移し、市民主体の活動とすべきである

・コンベンション（ビューロ）設置は本来は未成熟なものであり、記載すべきではないが、記載するのであれば市民主体となって設置し、運営経費も市民主体で運営するという理念を明確にすべきである。